

公立館林厚生病院
呼吸器医療の5つの特徴

1 地域トップレベルの
呼吸器専門医療体制

3名の呼吸器内科専門医が多角的に連携し、
専門医療を提供しております

2 充実した検査設備

肺がんの確定診断を行うため、
超音波気管支内視鏡を完備しております

3 呼吸器外科との
緊密な連携

内科、外科が連携することで、より良い
呼吸器医療の提供に取り組んでいます

4 スピーディーな対応

多職種とのスムーズな連携により、
患者さんのご希望に迅速に対応いたします

5 複数の疾患に対する
総合的医療の提供

他科の医師と連携し、ひとつの病気だけでなく
包括的に医療を提供しております



公共交通機関をご利用の方
東武伊勢崎線「館林駅」下車、徒歩10分
お車でお越しの方
東北自動車道「館林IC」より20分

邑楽館林医療企業団
公立館林厚生病院

〒374-8533 群馬県館林市成島町262-1

TEL 0276-72-3140

<http://www.tatebayashikoseibyoin.jp/>

病院ホームページはこちら →



5 SPECIALITIES Tatebayashi Kosei General Hospital
5つの領域

邑楽館林医療企業団 公立館林厚生病院



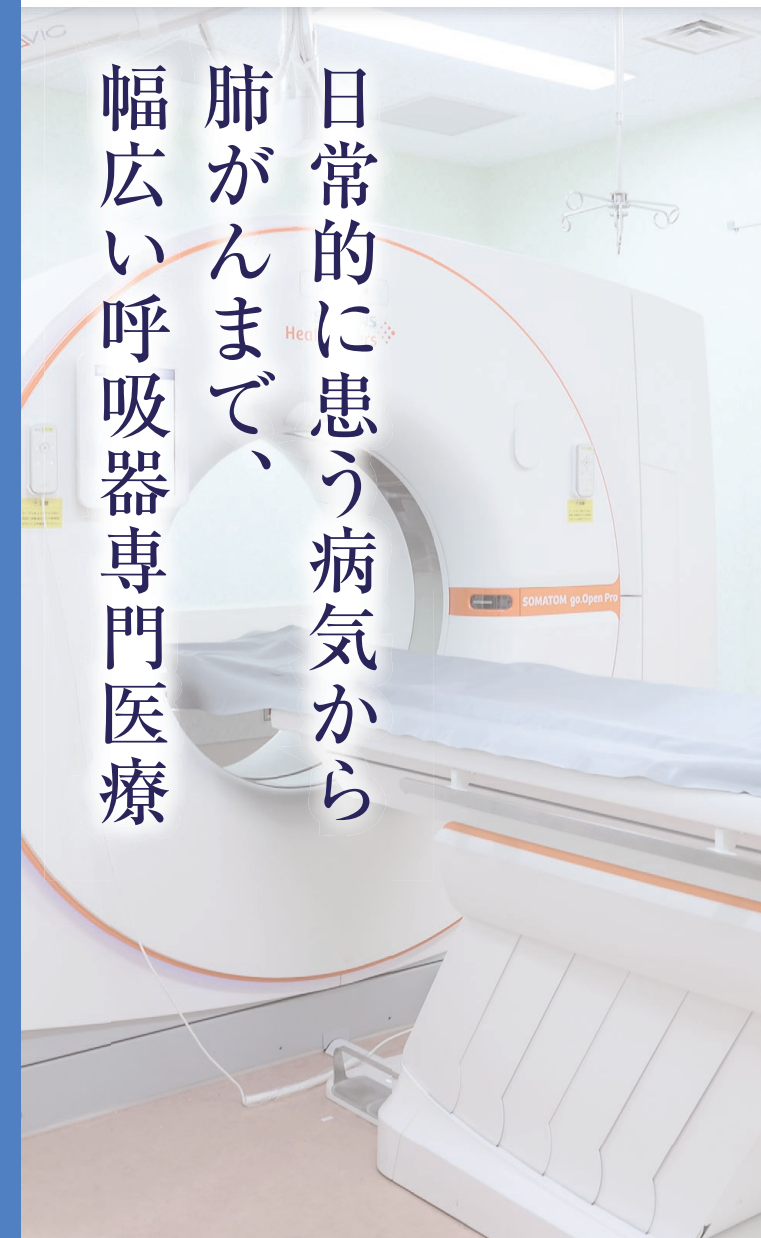
03

呼吸器医療

気管、気管支、肺など、
呼吸に関わる病気を診療しております

- 〈主な疾患〉
- 肺がん
 - 肺炎
 - 間質性肺炎
 - 非結核性抗酸菌症
 - 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)
 - 気管支喘息

日常的に患う病気から
肺がんまで、
幅広い呼吸器専門医療



真に患者さんに寄り添い、 最善を尽くす

役割

呼吸器系の疾患は幅広い年齢層の方がかかりやすく、医療ニーズの高い診療科です。しかし、数年前まではこの地域に呼吸器内科の専門医がいなかったため、県外の病院を受診される方がたくさんいらっしゃいました。

現在当院では、呼吸器内科専門医が3名体制となり、地元の方はもちろんのこと、地域外からも受診に来られる患者さんが増えてきました。

この地域も高齢化が進み、入院が必要な肺炎や肺がんの患者さんも増えておりますので、「すぐに診てほしい」「すぐに入院したい」といったご希望に添えるよう、対応してまいります。

ニーズの高い 呼吸器医療を地域に

当院の3名の呼吸器内科専門医は、臨床、学術研究、海外留学と、それぞれに異なる経験を重ねております。3名の違った見方により、診療はより多角的になり、様々なアプローチで患者さんの幅広いニーズに対応しております。肺がんの疑いのある患者さんには、必要に応じて超音波気管支内視鏡検査を行い、がんの3大治療である、外科的治療、内科的治療（化学療法）、放射線治療から、最善の治療方法を選択いたします。

積極的治療が難しい場合には緩和治療も行っております。地域唯一の総合病院として、迅速に呼吸器専門医療を内科、外科が協力して提供いたします。

専門性

地域トップレベルの 呼吸器医療

内科
呼吸器内科部長
神宮 浩之
Kamiya Hiroyuki

【主な所属学会・専門医等】

日本内科学会認定 認定内科医・総合内科専門医
日本呼吸器学会認定 呼吸器内科専門医・指導医
日本呼吸器内視鏡学会認定 気管支鏡専門医
日本結核・非結核性抗酸菌症学会認定 結核・抗酸菌症指導医
日本がん治療認定機構 がん治療認定医
医学博士

医師からのメッセージ

私は数年前に病気を患うことで「患者」を経験いたしました。初めての経験からとても怖く、不安を感じたことを今でも覚えております。入院生活の中で担当の医師や看護師さんが定期的に顔を見せ、言葉を掛けてくれることで安心することができ、前向きに治療が行えました。私はこの経験から真に患者さんに寄り添う医師になりたいと思い、出来る限り顔を見せ、言葉を掛けることを大切にしています。治療だけではなく、心のケアにおいても最善を尽くし、出来る限り患者さんとご家族皆様のご希望に沿った医療の提供を、呼吸器チーム一丸となって目指してまいります。



超音波気管支内視鏡検査



3名の呼吸器内科専門医

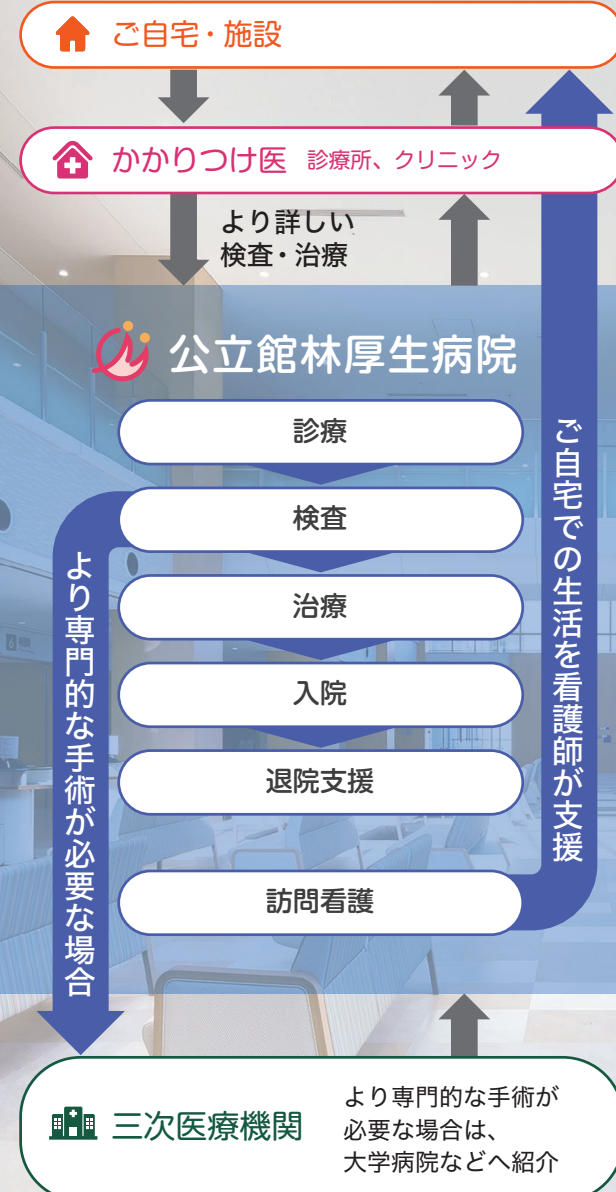


化学療法室



リニアック

受診の流れ



三次医療機関

より専門的な手術が必要な場合は、
大学病院などへ紹介